

『看護補助体制充実加算対象研修Ⅳ』 研修会実施報告

日時 : ①令和5年10月10日(火) 15:30~16:30

: ②令和5年10月20日(金) 8:30~9:30

対象者 : 看護補助者

参加者数 : ①17名 ②17名

目標 : 医療チーム及び看護チームの一員としての医療安全を学び、看護補助業務の理解を深める

<講師の紹介>

医療安全対策室
医療安全管理者
看護師長



<内容>



今回の研修は、医療チーム及び看護チームの一員としての医療安全を学び、看護補助者の理解を深めるという内容で講義していただきました。まず、医療チームとチーム医療の違いについて講義していただき、似ているようであるが、全く意味が違うことを学びました。

さらに、患者誤認防止の対応と転倒転落防止対策について講義していただきました。患者誤認は重大な医療事故につながるケースがあります。本人確認の方法は、名前の復唱、自ら名乗ってもらう、生年月日の確認、ネームバンドの確認、ベッドネームの確認などありますが、それぞれの患者に合った対応が患者誤認の対策につながると学びました。また、転倒転落も同じく重大な事故につながり、以前と同じ生活ができなくなることもあります。転倒転落を無くすことは難しいですが、「ゼロ」に近づけるように対策することが大切だと再認識できました。チーム医療を発揮して再確認と対策をしっかりと行い、院内のアクシデント件数が「ゼロ」に近づけるよう働きかけていきましょう。